

「福田学区の安全と安心をまもる会」 (平成 19 年 10 月 27 日設立)

代表者：正保 弘行

※世帯数及び人口は令和 4 年 4 月 1 日現在

南区	小学校区・地区名	福田学区	世帯数	4,965 世帯	人口	12,152 人
----	----------	------	-----	----------	----	----------

■組織の概要

福田学区の安全と安心をまもる会組織図

平成 19 年 10 月 27 日設立				
会長				
副会長				
事務局長		会計		監査
委員 (58) (運合町内会、地域団体)				
専門部会				
防犯	防災	地域福祉	健康づくり	環境文化

4 クラス 4 回の訓練になったので、反省点をもとに円滑な受付になるよう、創意工夫が進みました。さらに、児童の質問に答える授業場面も展開し、「まもる会」や地域の防災士が子どもたちと対面で話をすることもできました。



自分たちの居住スペースが決まるまで待ちます

福田学区は南区の北西に位置し、蝶が羽を広げたような特徴的な形をしています。国道 2 号線が東西に走り、1 中学校 1 小学校、18 町内会のコンパクトな地区です。

■活動の取組内容

防災活動・防災学習

避難所利用者登録票全戸配布 (2020 年 8 月)

避難所開設訓練 (2020. 12. 12) 福田小学校体育館

避難所開設訓練 (2021. 11. 27) 福田中学校体育館

令和 4 年度の取り組み

① 「マイタイムラインを作ろう」 (6 月 26 日)

防災部会の部員や各町内会防災部員を対象にして、開催しました。34 名の参加があり、講師の解説のもと、「逃げキッズ」の資料に沿って、自然災害場面を想定しながら、各自で対策を考えました。参加者からは、「今後の町内会活動に活かしたい」「避難が自分事として認識できた」という感想がありました。

② 小学校 4 年生総合学習 (防災学習) との連携 (10 月 25 日)

地域のことが分かり、地域の役員さんとの連携が日常的に行っている公民館と連携して学習を進めることは、児童の学習がより効果的に進むと期待しました。「まもる会」として、子どもに模擬家族を作ってもらって避難所での初動訓練をしました。まもる会から 20 名程度の参加があり、クラスごとに訓練をしました。



家族ごとに受付

■活動の成果 (課題)

自分たちの居住地域の特徴を理解することが、防災活動や防災学習において、基本的なことであることを再確認できました。「これまでに経験したことのない」災害が発生している現実を、指導や啓発のリーダーが大切に考え、いかに「自分ごと」としてとらえられるようにしていくかが、今後も課題だと考えています。

■工夫していること

防災の「学び」は、学習も体験も、継続することが大切です。地域の役員も、毎年交代する町内会もあるので、「学び」を生かすためには活動を継続していくことが重要だと考えています。初動体制は、学区内の全避難所で共通にしているため、場所を変えても、共通の訓練になるようにしています。学校の教育活動や PTA と連携を継続していくことも、幅広い年代層への「学び」の機会を提供することにつながると考えています。

事前学習の様子



まつりの復活

コロナ禍で中止が続いた

「夏まつりふくだ」の規模を縮小し、時期も秋に変えて実施しました。当日は可能な限りの感染対策を実施し、2000 人近い参加者で賑わいました。

(10 月 29 日実施)

【協働する団体等】

運合町内会、民生委員・児童委員協議会、栄養改善協議会、愛育委員会、消防団、中学校、小学校、幼稚園、保育園 PTA、コミュニティ協議会、スポーツ協会、交通安全協会、交通安全対策協議会、他 14 団体